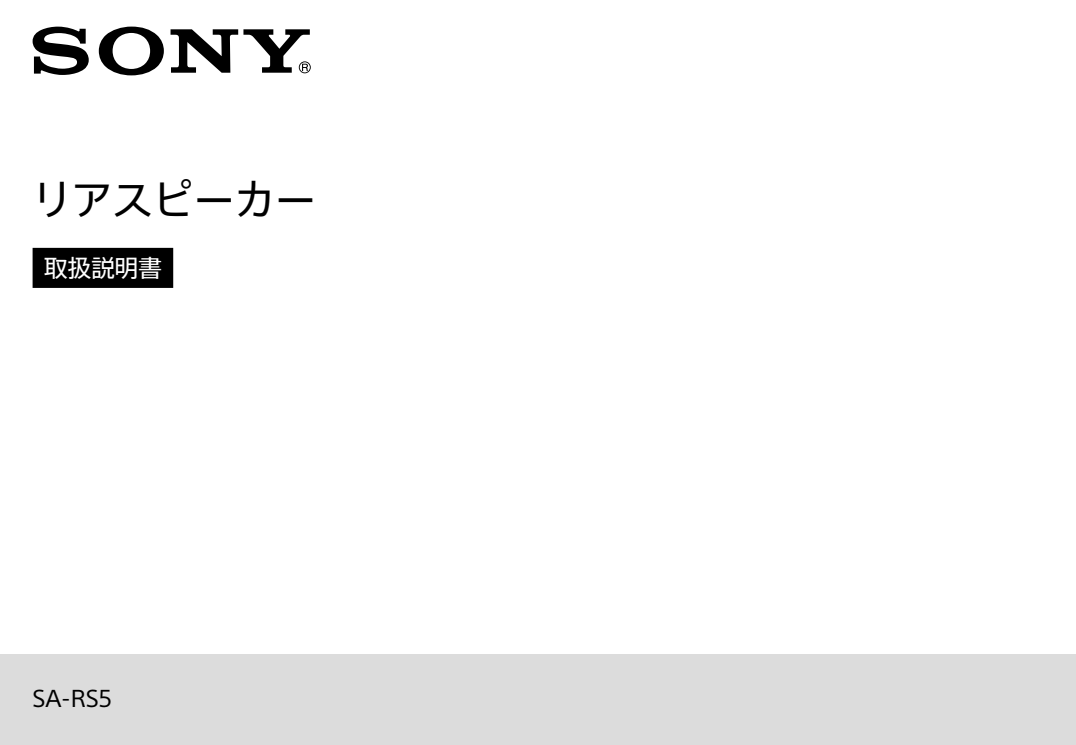




警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る
下記の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。
使用上のご注意もあわせてお読みください。

定期的に点検する
設置時や1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、プラグがしっかりと差し込まれているか、などを点検してください。

故障したら使わない
動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら
変な音・においがしたら、煙が出たら

- 電源を切る
- 電源プラグをコンセントから抜く
- お買い上げ店またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

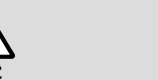
警告表示の意味
本取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災 感電

行為を禁止する記号



禁止 分解禁止 接触禁止 ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示 フラグをコンセントから抜く

注意
下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手でACアダプターや電源プラグにさわらない
感電の原因となることがあります。

通電中の本機やACアダプターに長時間ふれない
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

大音量で長時間つづけて聞かない
耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
→ 呼びかけられたら気がつくくらいの音量で聞くことをおすすめます。

安定した場所に置く
ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、本機が落下してけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度も充分に確認してください。

コード類は正しく配置する
電源コードや接続ケーブルは足にひっかけると本機の落下や転倒などにより、けがの原因となることがあります。充分に注意して接続、配置してください。

移動させるとき、長期間使わないときは、ACアダプターを抜く
長期間使用しないときは安全のためACアダプターをコンセントから抜いてください。絶縁劣化、漏電などにより火災の原因となることがあります。

お手入れの際、ACアダプターを抜く
ACアダプターを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

設置上のご注意
本機の角でけがをしないようにお気をつけください。

可燃ガスやエアゾールやスプレーを使用しない
清掃用や潤滑用などの可燃性ガスを本機に使用すると、モーターやスイッチの接点、静電気などの火花、高温部品が原因で引火し、爆発や火災が発生するおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイレス機能を使用しない
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイレス機能を使用しない
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

医療機器に近づけない
本製品（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、頭痛症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。本製品をこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、本製品のご使用前に担当医師にご相談ください。

リアスピーカーについて
機殻板は底面に貼ってあります。

ACアダプターについて
ACアダプターの機種名とシリアルナンバーは、ACアダプターの底面に表示してあります。

電池についての安全上の注意
液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

危険

付属以外のACアダプターを使わない
家庭用電源で使用するときは、必ず付属のACアダプターを使用してください。内蔵充電電池の液漏れや破裂、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

火の中に入れない
内蔵充電電池が破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

分解または改造しない
故障や内蔵充電電池の液漏れや破裂などの原因となります。内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはお買い上げ店、ソニーサービス窓口にご依頼ください。

火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない
内蔵充電電池の液漏れや破裂、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。
電池が液漏れしたり、異臭がする時にはただちに火気より遠ざけてください。

極端な低温の場所で使用・保管・放置しない

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所で使用・保管・放置しない
キャビネットなどが変形・変色したり、端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。

危険 内蔵充電電池が液漏れしたとき

内蔵充電電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない
液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

本機は充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。

注意 日本国内での充電式電池の廃棄について

Li-ion
本機に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。この充電式電池の取り外しはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

使用上のご注意

- 次のような場所には置かないでください。
 - 特殊な塗装、ワックス、油剤、溶剤などが塗られている床に本機を置くと、床に変色、染みなどが残る場合があります。
 - チューナーやテレビ、ビデオデッキといっしょに使用するとき、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。このような場合は、本機をそれらの機器から離して設置してください。
 - 電子レンジや大きなスピーカーなど、強力な磁気を発するものの近く。
- 使用中に本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。
- 本機のスピーカーは、防磁型ではありません。本機の上や近くに磁気を利用したカード類は置かないでください。
- 本機の周りに金属物を置かないでください。無線機能に影響が出る場合があります。

付属のACアダプターについて
付属のACアダプターは本機専用です。他の電気機器では使用できません。

お手入れについて
表面が汚れたときは、乾いた柔らかい布などでふいてください。
研磨パッド、クレンザー、アルコールやベンジンなどの溶剤は使わないでください。

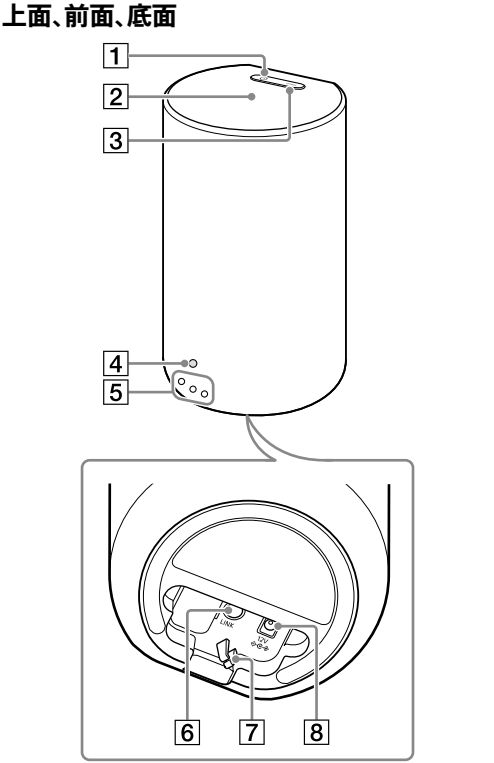
- その他のご注意**
- 周りの温度が非常に高いところでは、安全のために充電を停止、または内蔵充電電池の保護のため音量を下げます。
 - 長期間使用しない場合、内蔵充電電池の劣化を防ぐため、半年に1度充電を行ってください。
 - 使用可能時間が極端に短くなった場合は、内蔵充電電池の寿命と考えられます。

本機の対応機種について

本機は特定の対応機種とのみ動作するリアスピーカーです。本機に対応している機種については、ソニーのホームページでご確認ください。
本書では、対応機種HT-A7000と組み合わせた場合の操作方法を記載しています。

ご注意
接続する機器によってはソフトウェアのアップデートが必要なことがあります。本機をアップデートするには付属のACアダプターを使って本機をコンセントにつなぐ必要があります。
アップデート方法については、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

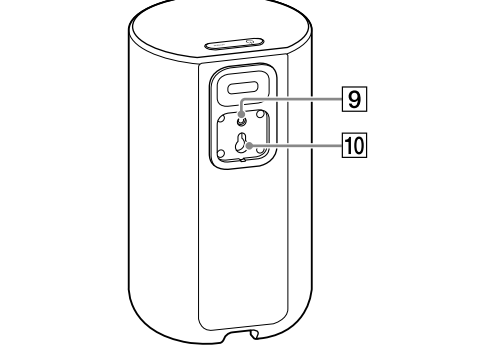
各部の名称とはたらき



- ① (電源) ボタン
本機の電源を入／切します。
- ② イネーブルドスピーカー
上方向に音を出力するスピーカーです。
- ③ OPTIMIZE (オプティマイズ) ボタン
つないでいる機種の音場最適化を行うことができます。本機が2台とも電源が入っているとき、どちらかのOPTIMIZEボタンを押すだけでつないでいる機種を操作することなく音場最適化を行うことができます。
つないでいる機種の状態によっては音場最適化が行えない場合があります。
本機能は特定の対応機種とつないだときのみ動作します。本機能に対応している機種については、ソニーのホームページでご確認ください。
- ④ 電源ランプ
– ゆっくり点滅 (緑色)：対応機種と自動接続待機中
– 点灯 (緑色)：対応機種と接続中
– 2回ずつ点滅 (緑色)：対応機種と手動接続待機中
– 点滅／点灯 (アンバー色)：ソフトウェアアップデート中
– 点灯 (赤色)：スタンバイ状態
– 消灯：電源オフ状態
- ⑤ バッテリーランプ
充電中
– ゆっくり点滅：充電中
– 消灯：充電完了
使用中 (コンセントにつながらずに)
– 点灯：内蔵充電電池の電池残量を示しています。
– 一番左のランプつが点滅：内蔵充電電池の電池残量が少なくなっています。本機を充電してください。
- ⑥ LINK (リンク) ボタン
- ⑦ ケーブルホルダー
- ⑧ DC入力端子

- ご注意**
- イネーブルドスピーカーの上に物を置いたり注意に触れないようにしてください。
 - 本機の電源ランプとバッテリーランプの明るさは、対応機種の本体表示の設定に連動します。

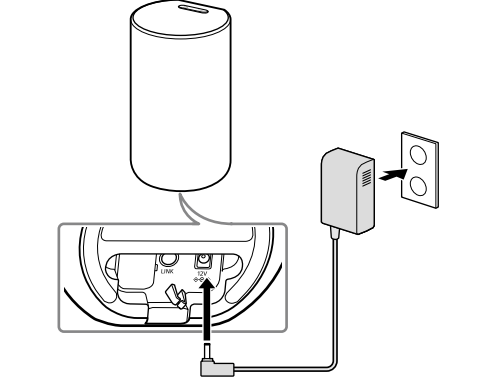
背面



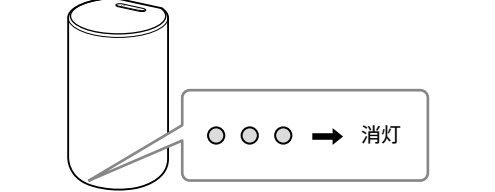
- ⑨ スピーカースタンド用取り付け穴
⑩ 壁掛け用穴
- ご注意**
スピーカースタンド用取り付け穴 (⑨) または壁掛け用穴 (⑩) を使う場合は、カバー下部の切り欠き部にマイナスドライバーなどを差し込んでカバーを外してください。

本機を充電する

- 1 付属のACアダプターを本機につなぎ、次にACアダプターをコンセントにつなぐ。



充電中はバッテリーランプが点滅します。
充電が完了すると、バッテリーランプが消灯します。



ご注意
ACアダプターのプラグ部分を取り外して、プラグ単体でコンセントにつながないでください。感電、火災になる危険性があります。

- 2 充電が完了したらACアダプターをコンセントから抜き、次にACアダプターを本機から抜く。

ちょっと一言
本機は充電中でも使用できます。ただし、使用状況によっては充電時間が長くなることがありますので、充電するときは本機の電源を切ることをおすすめします。

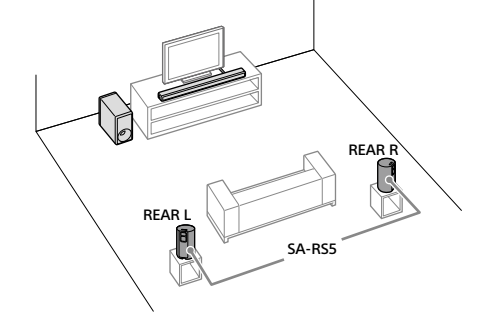
本機を設置する

サラウンドを効果的に楽しむために、本機の高さを耳の位置に合わせて設置します。

- ご注意**
- 棚の中や天井の直下に設置しないでください。
 - 本機を傾けて設置したり不安定な場所に設置しないでください。

棚などに設置する

下記の設置図は、対応機種HT-A7000と別売のサブウーファーを組み合わせた場合の例です。



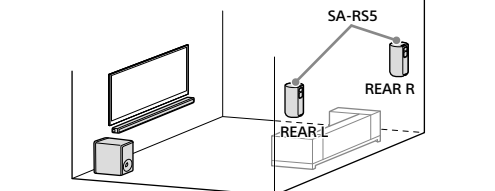
- 1 本機の底面にあるラベルでスピーカーの左右を確認する。
「REAR R」が右、「REAR L」が左です。
- 2 本機を視聴位置 (音を聞く位置) より後ろに置く。
スピーカーを視聴位置に向けて設置してください。

ご注意
底面のラベルがある位置を下にして本機を設置してください。それ以外の置き方には対応していません。

ちょっと一言
より良い音でサラウンド効果を楽しむためには、音場最適化やスピーカー距離設定などを行ってください。対応機種により機能／操作が異なるため、詳しくは、対応機種の取扱説明書やヘルプガイドをご覧ください。

壁に取り付ける

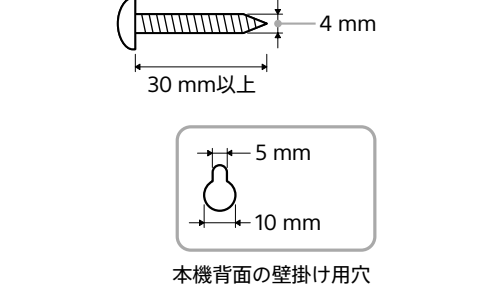
下記の設置図は、対応機種HT-A7000と別売のサブウーファーを組み合わせた場合の例です。



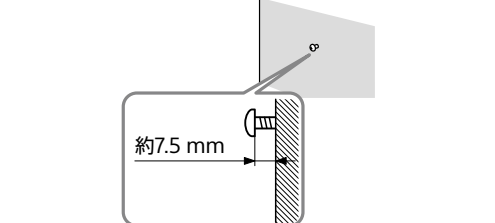
- ご注意**
- 販売店や工事に依頼して、安全性に充分配慮して確実な取り付けを行ってください。

- 取り付けの不備、取り付け強度不足、誤使用、天災などによる事故、損傷につきましては、ソニーは一切責任を負いません。

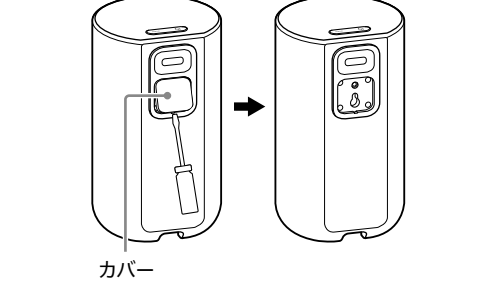
- 1 本機背面の壁掛け用穴に合う市販のネジを用意する。



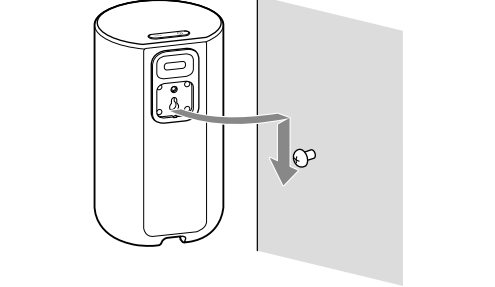
- 2 壁に本機をかける高さを決め、その位置にネジをとめる。



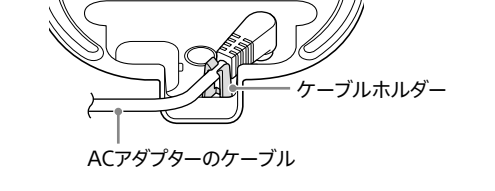
- 3 本機背面のカバーを、カバー下部の切り欠き部にマイナスドライバーなどを差し込んで外す。



- 4 本機背面の壁掛け用穴をネジにかける。
底面のラベルを確認して左右の判別をします。
「REAR R」が右、「REAR L」が左です。

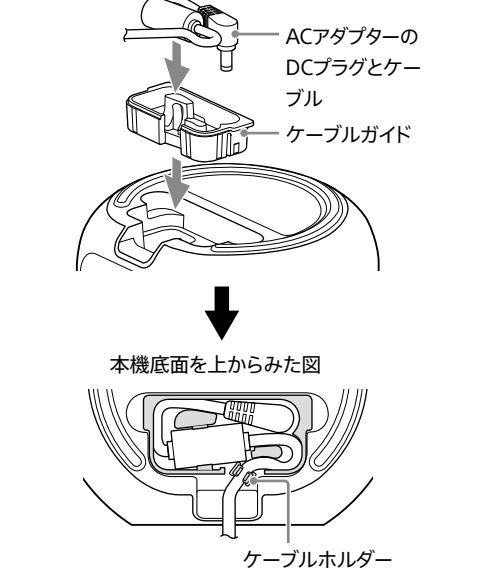


- 5 ACアダプターをつないだまま壁に取り付ける場合は、ACアダプターのケーブルを本機底面のケーブルホルダーにかける。

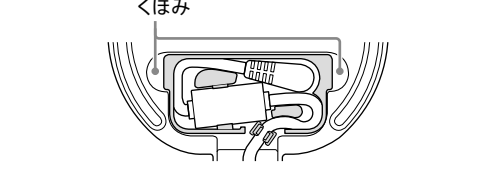


- ご注意**
- 壁の材質や強度に合わせた市販のネジをご用意ください。壁の材質によっては破損するおそれがあります。ネジは柱部分にしっかりと固定してください。左右のスピーカーの高さが同じになるように、本機を補強された壁に取り付けてください。
 - 手順3で外したカバーは壁から外したときに使えるように保存しておいてください。

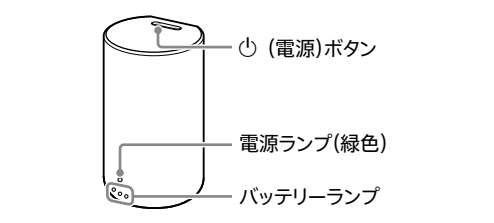
ちょっと一言
付属のケーブルガイドをご使用になると、壁掛け設置などの際にケーブルをすっきりと収納できます。ケーブルガイドにACアダプターのDCプラグとケーブルを収納し、DCプラグをDC入力端子につなぎながらケーブルガイドをリアスピーカー底面に取り付けます。そのあと、ケーブルをケーブルホルダーにかけます。



- ケーブルガイドをお使いの場合は、ケーブルガイドとケーブルを奥までしっかりと差し込んでください。
- 本機底面のLINK (リンク) ボタンを押す場合は、ケーブルガイドを外してください。
- ケーブルガイドを外すときは、ケーブルホルダーからケーブルを外し、それからくぼみに指を入れてケーブルガイドを引き出してください。



本機をつなぐ



ちょっと一言
別売サブウーファーを設置する場合も、下記と同じ方法で対応機種と接続できます。

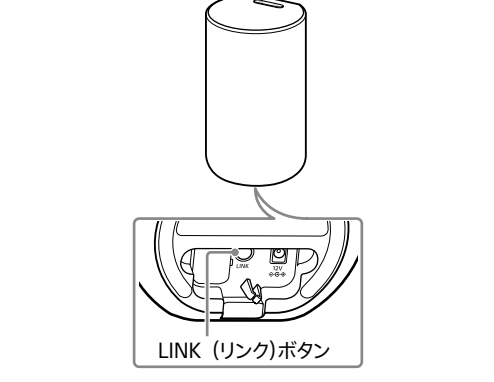
- 1 対応機種の電源を入れる。
- 2 (電源) ボタンを押して、本機の電源を入れる。
電源が入ると本機の電源ランプが点灯または点滅します。本機を使用するには左右2台とも電源を入れてください。
本機は充電中でも使用できます。
- 3 本機の電源ランプが緑色に点灯していることを確認する。
電源ランプが緑色に点灯しているときは、本機と対応機種の接続は完了しています。
接続できない場合は、手動で対応機種につないでください。詳しくは、「自動で接続しないとき」をご覧ください。

ご注意
本機にACアダプターをつないでいないとき、対応機種がスタンバイ状態だと、5分経過すると本機の電源が自動的に切れます。お使いのときは再度本機の電源を2台とも入れてください。

自動で接続しないとき

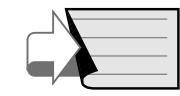
本機を対応機種に自動でつなぐことができない場合や、複数の対応機種を使用しているときに本機をつなぐ対応機種を指定しない場合は、手動でつないでください。
下記は、対応機種HT-A7000とつなぐ場合の操作方法です。対応機種に付属のリモコンを使用して操作してください。
その他の対応機種の操作手順は、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

- 1 ホームボタンを押す。
テレビ画面にホームメニューが表示されます。
- 2 ホームメニューで [設定する]・[詳細設定] を選ぶ。
- 3 [スピーカー設定]・[ワイヤレススピーカー設定]・[手動リンク開始] を選ぶ。
[手動リンク開始] 画面がテレビ画面に表示されます。
- 4 本機のLINK (リンク) ボタンを押す。



LINK (リンク) ボタンを押したスピーカーの電源ランプが緑色に2回ずつ点滅します。

- 5 [開始] を選ぶ。
手動リンクの設定を開始します。
接続状況がテレビ画面に表示されます。
手動リンクを止めるには、[中止] を選びます。
- 6 [リアスピーカー (左)] および [リアスピーカー (右)] が [接続済み] になったら [完了] を選ぶ。



7 決定ボタンを押す。

リンクが完了し、本機の電源ランプが緑色に点灯します。

ご注意

- 〔手動リンク開始〕を行うと、〔ワイヤレススピーカー設定〕の〔リンクモード〕は自動的に〔手動〕に設定されます。
- 手順6で〔接続済み〕になったスピーカーだけが対応機種とつながります。本機の接続がうまくいかなかった場合は、手動接続を再度行ってください。

ワイヤレス通信が不安定なとき

無線LANなど複数のワイヤレス機器をお使いの場合、本機のワイヤレス通信が不安定になることがあります。この場合、下記の設定を変更することで改善することがあります。
下記は、対応機種HT-A7000とつなぐ場合の操作方法です。対応機種に付属のリモコンを使用して操作してください。
その他の対応機種の操作手順は、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

1 ホームボタンを押す。
テレビ画面にホームメニューが表示されます。

2 ホームメニューで 〔設定する〕 - 〔詳細設定〕を選ぶ。

3 〔スピーカー設定〕 - 〔ワイヤレススピーカー設定〕 - 〔ワイヤレス周波数設定〕を選ぶ。

4 設定を選ぶ。

- 〔入〕（お買い上げ時の設定）：通常はこの設定にします。自動的にワイヤレス通信に最適な周波数を選びます。ワイヤレス混線に強いモードです。
- 〔切〕：ワイヤレス混線を避けるために、周波数帯を固定します。〔入〕を選んで音切れする場合は、〔切〕を選ぶと改善することがあります。

ご注意

〔ワイヤレス周波数設定〕を〔切〕から〔入〕に切り換えた場合、再接続に1分ほどかかることがあります。

困ったときは

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にお問い合わせください。
修理をご依頼の場合は、本機、対応機種、別売のサブウーファーいずれかに問題がある場合でも、すべてお持ちください。
下記は対応機種HT-A7000と組み合わせてお使いの場合の対処方法です。
その他の対応機種と組み合わせてお使いの場合は、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。

本機から音が出ない

- ➔ 本機のACアダプターがしっかり差し込まれているか、もしくは内蔵充電電池が充電されているか確認してください。
- ➔ 本機の電源ランプが消灯している場合は、以下を試してください。
 - 本機のACアダプターがしっかり差し込まれているか、もしくは内蔵充電電池が充電されているか確認する。
 - 本機の （電源）ボタンを押して電源を入れる。
- ➔ 本機の電源ランプが緑色でゆっくり点滅、または、赤色に点灯している場合は、以下を試してください。
 - 本機の電源ランプが緑色に点灯するように、本機を対応機種の近くに動かす。
 - 「自動で接続しないとき」の手順を行う。
 - ワイヤレス接続の状態を確認する。詳しくは、対応機種に付属の取扱説明書をご覧ください。
- ➔ 対応機種に付属のリモコンのリア音量＋ボタンを押して、本機の音量を上げてください。
- ➔ 対応機種の〔ワイヤレス周波数設定〕を〔切〕から〔入〕に切り換えた場合、音声を出するまで1分ほどかかることがあります。
- ➔ 電源ランプが赤色で点滅している場合は、ACアダプターをコンセントから抜き、 （電源）ボタンを押して電源を切り、ACアダプターをコンセントにつないで、再度電源を入れなおしてください。
- ➔ 音源やサウンドフィールドによっては本機から音が出ないことがあります。詳しくは対応機種のヘルプガイドまたは取扱説明書をご覧ください。

音が途切れる、ノイズが出る

- ➔ 無線LANや電子レンジを使用している場所など、電磁波を発生する機器がある場合は、その機器から離れて使ってください。
- ➔ 本機と対応機種との間に障害物がある場合は、障害物を避けるか取り除いてください。
- ➔ 本機と対応機種をできるだけ近づけてください。
- ➔ テレビ、ブルーレイディスクレコーダーなどの無線LANを有線LANに切り換えてください。

本機が充電できない

- ➔ 周りの温度が非常に高いところや低いところでは安全のために充電を停止します。また、長時間充電が続いても充電を停止することがあります。使用可能温度(5° C ～ 35° C)の範囲内でACアダプターを抜き差ししてからもう一度充電を行ってください。

音が出ないスピーカーがある

- ➔ 音源やサウンドフィールド、本機と組み合わせる機種によっては音が出ないスピーカーがあります。詳しくは対応機種のヘルプガイドまたは取扱説明書をご覧ください。

音場最適化が失敗する

- ➔ 本機の設置場所が間違っている可能性があります。本機の底面のラベルで2台のスピーカーの設置場所を確認し、本機を正しい位置に配置してください。
- ➔ 本機は、底面のラベルが下になるように立てて設置してください。
 - 本機を横向きに置くと、音場最適化を正しく行うことができません。
 - 本機を斜めに設置すると、本機の測定用マイクが斜めになり、天井距離測定用の音声も斜めに出力され、音場最適化が失敗する原因となります。
- ➔ 周囲が静かな状態で再度音場最適化を行ってください。
- ➔ スピーカー同士を50 cm以上離して設置してください。スピーカー同士の距離が近すぎると、音場最適化を正しく行うことができません。
- ➔ スピーカー同士の距離が離れすぎている場合は、近づけてください。
- ➔ スピーカー同士の間に障害物があったり、測定用マイクが隠れていたりすると、音場最適化を正しく行うことができません。スピーカー同士の間や、スピーカーの目の前に障害物がある場合は、取り除いてください。

リセットする

「困ったときは」で症状が改善されない場合は、本機をリセットしてください。

1 ACアダプターをコンセントから抜く。

2 OPTIMIZE（オプティマイズ）ボタンを10秒以上押す。
本機がリセットされます。

ご注意

本機をリセットした後は、本機の （電源）ボタンを押して電源を入れてください。

ちょっと一言
リセットは強制的に本機の電源を落とす操作で、本機の設定は残ります。

主な仕様

アンプ部
実用最大出力(非同時駆動、JEITA*)
イネーブルドスピーカー：40 W（6 Q、1 kHz）
トウィーター：10 W（6 Q、10 kHz）
ウーファー：40 W（6 Q、100 Hz）
* JEITA（電子情報技術産業協会）規定による測定値です。

フロントスピーカー部
形式
2ウェイスピーカーシステム
バッシブラジエーター型
使用スピーカー
ウーファー：70 mm × 82 mm コーン型
トウィーター：14 mmソフトドーム型

イネーブルドスピーカー部
形式
フルレンジスピーカーシステム
アコースティックサスペンション型
使用スピーカー
46 mm × 54 mm コーン型

電源部
電源
DC 12 V（付属のACアダプターをつないでAC 100 V～240 V、50 Hz/60 Hz電源にて使用）、内蔵充電電池を使用
消費電力
電源オン状態のとき：45.6 W（内蔵充電電池充電中）
スタンバイ状態のとき：1 W以下
電源オフ状態のとき：0.5 W以下

内蔵充電電池の持続時間
最大10時間（通常再生時）^{*1a2}
最大3時間（最大音量再生時）^{*1a3}
最大10時間（JEITA）^{*4}
^{*1} 再生する音量や音源、周囲の状況により、上記の時間と異なる場合があります。
^{*2} 当社規定の音源を使用し、対応機種HT-A7000とつなぎ、HT-A7000の音量をVol.38に、それ以外を工場出荷時の設定にした場合の再生時間です。
^{*3} 当社規定の音源を使用し、対応機種HT-A7000とつなぎ、HT-A7000の音量を最大に、リアの音量を最大に、ボイスモードをオンに、それ以外を工場出荷時の設定にした場合の再生時間です。
^{*4} JEITA（電子情報技術産業協会）の測定方法に基づいた再生時間です。

内蔵充電電池の充電時間
約4時間（付属のACアダプター使用時）*
（10分充電時 最大90分再生可能）*
* 周囲の温度や使用状況により、上記の時間と異なる場合があります。

ワイヤレストランスミッター／レシーバー部
通信方式
Wireless Sound Specification Version 4.0
使用周波数帯域
5 GHz
変調方式
OFDM

その他
使用温度範囲
5° C ～ 35° C
最大外形寸法（約）（幅／高さ／奥行き）
145 mm × 250 mm × 134 mm（突起部除く）
質量（約）
2.4 kg

同梱品

- リアスピーカー R（1）、リアスピーカー L（1）
- ACアダプター（AC-045RS5E）（2）
- ケーブルガイド（2）
- 取扱説明書（1）

本機のソフトウェアについて

本機には、GNU General Public License（“GPL”）またはGNU Lesser General Public License（“LGPL”）の適用を受けるソフトウエアが含まれております。このため、お客様には GPL/LGPL の条件に従って、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。GPLまたはLGPL、その他本機に含まれるソフトウェアライセンスの確認方法については、対応機種の取扱説明書をご覧ください。
対応機種HT-A7000をお使いの場合は、ホームメニューから 〔設定する〕→〔詳細設定〕→〔本体設定〕→〔ソフトウェアライセンス〕で確認できます。GPL/LGPL等に基づき、ソニーがソースコードを提供すべきソフトウェアのソースコードは以下のサイトからダウンロードできます。
DVD-ROM等の有体媒体に記録されたソースコードをご希望の方は、同じく以下のサイトのフォームからお申込み下さい。ソースコードの提供は本製品の最終出荷日から3年以内にご希望を頂いた場合に限りさせていただきます。
https://oss.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせは御遠慮ください。

その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェック

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかを点検してください。

それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口へ
ソニーの相談窓口へご相談になるときは、次のことをお知らせください。

- 型名
- つないでいるテレビやその他の機器のメーカーと型名
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- 購入年月日：

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではステレオの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

型名：SA-RS5

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口

フリーダイヤル

..... **0120-333-020**

携帯電話・PHS一部のIP電話

..... **050-3754-9577**

修理相談窓口

フリーダイヤル

..... **0120-222-330**

携帯電話・PHS一部のIP電話

..... **050-3754-9599**

※取扱説明書、リモコン等の購入相談は
こちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

↓

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「3 0 6」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつながじます。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1